

急性化膿性胆管炎における重症度予測因子についての観察研究

急性胆管炎は結石や悪性腫瘍が原因で胆管に細菌感染を来たす病態であり、重症の場合、敗血症を来して死に至ることが多く、緊急ドレナージ術が必要です。一方、高齢者や基礎疾患を有する患者では、緊急ドレナージ術もリスクを伴うためその適応や実施のタイミングについては慎重に見極める必要があります。そこで、当科では『急性化膿性胆管炎における重症度予測因子についての観察研究』という臨床研究を行っております。この研究では、当院倫理委員会で承認された内容に則り、対象患者さんのカルテ情報を使用させていただきます。

研究期間：2018年4月1日～2024年3月31日

方法：

2018年1月以降に、急性化膿性胆管炎をきたして受診された患者さんの年齢、性別、既往症、胆管炎の重症度と成因、血液検査所見、内視鏡検査所見、予後などをカルテから抽出し検討します。観察研究であり、特に費用などが発生することはありません。

個人情報に関して：

個人が特定されないように匿名化されるため、個人情報が漏洩することはありません。

利益相反：ありません

研究成果の公表：学会や科学専門雑誌に発表することがあります。

本研究に関してご不明な点やご質問がありましたら下記までお問い合わせください。また、今回の研究に参加されたくない場合には、研究対象から除外させていただきますので下記まで遠慮無くお申し出ください。その場合でも、今後の診療に影響を及ぼすことはありません。

2022年12月21日

市立長浜病院 消化器内科

研究責任者 平山尚史

TEL 0749-68-2300(代表) FAX 0749-65-1259